
『XML マスター』の取得者、2003年3月末で4,000名を突破

XML 技術者育成推進委員会（事務局：東京都品川区、会長：斎藤信男 慶應義塾大学常任理事兼 W3C Associate Chairperson 以下「委員会」）は、2001年10月1日から開始した XML 技術者認定制度『XML マスター』の取得者が、2003年3月31日時点で4,000名を突破したことを発表しました。

『XML マスター』は、XML のスキルを持った技術者の幅広い育成を目標に発足された認定制度です。XML に関連する業務を行うエンジニアに必要な XML 関連知識の習得を認定する「XML マスター：ベーシック」と、XML データを利用したシステム構築を行うエンジニアを対象とした上位認定制度「XML マスター：プロフェッショナル」の2種類があり、これにより実際のシステム開発ニーズに柔軟に対応できる高度な技術者の育成に拍車がかかるものと期待が高まっています。このたびの『XML マスター』取得者4,000名には、「XML マスター：ベーシック」と「XML マスター：プロフェッショナル」が含まれます。

「e-Japan 構想」に代表される官公庁 XML プロジェクトや BtoB（企業間電子商取引）システム案件、Web サービス案件の増加など、XML 技術に対するニーズの急速な拡大に伴い、XML 技術者の早期育成が急務となる中、委員会では、2003年10月までに累計8,000名の『XML マスター』輩出を目指しています。

XML マスターについて

『XML マスター』は、XML のスキルを持った技術者の幅広い育成を目標に発足された認定制度です。現場で役に立つ XML 技術者の育成のための適切な試験範囲と問題内容の審査を行う諮問機関として XML 技術者育成推進委員会が存在します。『XML マスター』の称号により、XML 技術力に対する確かな指標を提供し、現在各分野で深刻化している幅広い知識を持った XML 技術者の不足という問題の解決を促進します。 <http://www.xmlmaster.org/>

<お問い合わせ先>

XML技術者育成推進委員会事務局（インフォテリア内）

office@xmlmaster.org （電子メール）

<http://www.xmlmaster.org/> （ウェブサイト）

大橋 （広報担当）

以上